

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	プロパティマネジメント小委員会		主 査 名：関 栄二 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：安藤 正雄 主 査 名：
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>ストック時代に対応した建築学のあり方が問われている。そのなかで、建築におけるプロパティマネジメントの必要性が指摘されている。</p> <p>本小委員会では、建築におけるプロパティマネジメントを総合的に検討することから、ストック時代に対応した建築学のあり方、学問・教育の再編の方向を示唆することを目的としている。これは、ストック時代に対応するための建築学と、建築ストックを法律・経済・工学から総合化してきた不動産学との新たなシステムの統合を目指すものでもある。</p> <p><b>初年度</b>：地域におけるプロパティマネジメントのあり方、住み手・借り手主導の時代の建築社会システムのありかたに関する検討を行う。</p> <p><b>2 年度</b>：東日本の震災被災地域の復興計画におけるプロパティマネジメントのあり方の検討を行う。</p> <p><b>3 年度</b>：震災被災地域における、住み手主導型の建築社会システムのあり方の検討を行う。</p> <p><b>4 年度</b>：人口減少時代における、所有から利用による地域再生のあり方を提案する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：関栄二 (AGデザイン)</p> <p>幹事：秋山哲一 (東洋大学) 齊藤広子 (明海大学)</p> <p>委員：安藤正雄 (千葉大学) 田村誠邦 (アークブレイン) 中城康彦 (明海大学) 三橋博巳 (日本大学) 浦江真人 (東洋大学) 鈴木雅之 (千葉大学) 藤本秀一 (建築研究所) 橋本真一 (建設物価調査会) 森田芳朗 (東京工芸大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>超高層マンションに関するプロパティマネジメントWG</p> <p>東日本大震災の際の超高層マンションの被害状況を明らかにし、今後予想される首都圏直下型地震発生時に超高層マンションが地域に果たせる役割などの検討を行う。</p>		
2012 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	

<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 東日本大震災の復興状況とその課題についてのレクチャーを受け（災害対応型建築社会システム特別委員会との合同開催）、その知識をもとに、現地視察を行い、PM委員会として、復興に関して提案すべきことの検討を実施した。</li> <li>2. 超高層マンションに関するWGで、東日本大震災時の超高層マンションの被害実態を調査し、大会OSにて発表した。</li> </ol>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今年度の活動は、東日本大震災のテーマに偏ってしまったので、震災と並行して、地域のプロパティマネジメント等、当初予定していた研究もする必要がある。</li> <li>2. 新たに1人委員を公募したが、未だメンバーが固定しているため、委員の増強を検討していく必要がある。</li> </ol>